

News Release

2020年6月3日

令和元年度地方創生に資する金融機関等の 「特徴的な取組事例」の受賞について

株式会社ふくおかフィナンシャルグループ（取締役会長兼社長 柴戸 隆成、以下「FFG」）は、傘下の株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズ（代表取締役社長 福田 知）による産学官の大学発ベンチャーの創出・育成や、福岡のベンチャーキャピタルと連携したスタートアップ支援プログラムの実施等の取組みが、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）から表彰されましたことをお知らせいたします。

令和元年度は、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局により、地方公共団体等と連携している事例や先駆性のある事例のうち34事例が選定、表彰されました。FFGにおける取組みは、地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」として選定されたものです。

FFGでは、広域連携による九州・大学発ベンチャーのスタートアップやエコシステムの推進を通じて、地域から世界へ挑むスタートアップの支援や各大学が保有する知の事業化を積極的に推進しています。今後とも、様々な機関との連携を活かした地方創生・地域経済の活性化に取り組んでまいります。

■ 表彰を受けた取組事例

概要	<ul style="list-style-type: none">・「九州・大学発ベンチャー振興会議」と連携した産学官の大学発ベンチャーの創出・育成・福岡のベンチャーキャピタルが連携したスタートアップ支援プログラムを通じた、九州全体のスタートアップ・エコシステムの推進
取組経緯	地銀系ファンドとして、継続的なスタートアップ企業の創出と地域経済の活性化を目指し、地域の投資家・地場企業・大学などの支援機関と広域連携を推進
具体的取組	<ul style="list-style-type: none">・「九州・大学発ベンチャー振興会議」に地銀系VCとして唯一参加し、九州の大学発ベンチャーへ出資・スタートアップ31社と九州の地場企業225社をマッチングする「X-Tech Match-Up」を主催・福岡を代表するベンチャーキャピタル3社で連携しスタートアップを共同支援するプログラム「S.C.A.L.E.」を始動

取組みの詳細につきましては別紙をご参照ください。

以 上

《 本件に関するお問合せ先 》
（株）FFGベンチャービジネスパートナーズ 担当：松永
TEL 092 - 723 - 2139

広域連携による「九州・大学発ベンチャー」のスタートアップ・エコシステム推進

(ふくおかフィナンシャルグループ)

1. 取組の概要

- ・「九州・大学発ベンチャー振興会議」を活用した、広域連携による産学官の大学発ベンチャーの創出・育成や、福岡のベンチャーキャピタル(VC)が連携したスタートアップ支援プログラムの実施などを通して、九州全域のスタートアップ・エコシステムを推進。

2. 取組を始めるに至った経緯、動機等

- ・福岡はスタートアップ都市として注目を集め起業の裾野は広がっているものの、IPO等に至るスタートアップはまだ少ない現状がある。
- ・そこで、福岡だけでなく九州全域の大学・経済界が連携しながら大学発ベンチャー創出を促す「九州・大学発ベンチャー振興会議」に地銀系ファンダとして唯一参加、福岡・九州からのユニコーン企業創出を目指すべく、九州全域のスタートアップ・エコシステムを推進。
- ・同会議を契機とした九州大学発ベンチャーへの出資に加えて、当社グループのネットワークを活かし、福岡のVC間で連携したスタートアップ支援プログラムや、地場企業とスタートアップのマッチング支援などの販路開拓支援を実施。

3. 具体的な取組内容

- ・「九州・大学発ベンチャー振興会議」は2017年度に設立、九州の各大学による大学発ベンチャーに関するノウハウ共有や連携を経済界がバックアップする広域の連携に特徴がある。また、FFGベンチャービジネスパートナーズは、地銀系VCでは唯一、文部科学省の大学発産業新産業創出プログラムSTARTの事業プロモータに採択されるなど、大学発ベンチャーに対する支援体制を評価されており、その支援ノウハウを活かし、「九州・大学発ベンチャー振興会議」において、大学発ベンチャーに対する目利きを担っている。
- ・日本全国のスタートアップ31社と九州の地場企業225社をマッチングする「X-Tech Match-Up」を主催。
- ・福岡を代表するベンチャーキャピタル3社で連携し共同でスタートアップを支援するプログラム「S.C.A.L.E.」を始動。

4. 実施にあたり工夫した点(金融機関の役割・推進体制面・PDCAサイクル面等)

- ・大学発ベンチャーの立ち上げ方法や目利きに精通した人材・体制整備が必要と考え、専門経験を有する外部人材を複数招聘。
- ・福岡銀行をはじめとする傘下銀行の地元ネットワークを、地場企業とのマッチングやスタートアップ支援にフルに活用。
- ・福岡だけでなく九州全域からユニコーン企業を目指すという機運を高めるためのメンタリングイベントを実施し、起業家を伴走支援。

5. 取組の成果(取組中の場合は目標値・KPI等)

- ・2018年度までに振興会議は6回開催(1回あたり約50名が参加)され、各大学から総数で約50件の技術シーズが提出。そのうちFFGベンチャービジネスパートナーズから2社に投資。
- ・「X-Tech Match-Up」にて330件の商談を実施し、スタートアップと地場企業間で複数の成約実績あり。
- ・初回メンタリングイベントに9社の起業家が参加し、継続支援を実施中。

6. スキーム図等

スタートアップ・エコシステムの推進

起業家と投資家・地場企業・大学などの支援機関が広域で連携し、継続的なスタートアップ企業の創出と地域経済の活性化を目指す

九州・大学発ベンチャー振興会議

(2017年2月創設、2018年度末までに振興会議・振興実践会議を6回開催)

九州の各大学が情報交換をしながらノウハウの共有や連携を行うとともに、経済界がこれをバックアップし、九州が一丸となって大学発ベンチャーを振興する組織(各大学から技術シーズを集め有望なものに資金提供するなど連携して支援体制を整備)

オール九州でのスタートアップ・エコシステム構築



FFGベンチャービジネスパートナーズから実際に出資
九州大学発ベンチャー“KAICO”
大分大学発ベンチャー“大分大学先端研究所”



創設時 初期参加メンバ

大学

九州大学
九州工業大学
佐賀大学
長崎大学
熊本大学
大分大学
宮崎大学
鹿児島大学
琉球大学
福岡大学
久留米大学
福岡工業大学

経済団体

九経連
九州商工会議所
九州経済同友会
九州経営者協会
九州経済調査会
九州地域産業活性化センター

経済界

ピー・エムティー
西部技研
ハウインターナショナル
ワビ・エム
ケンコーコム
エルム
トヨタ九州
安川電機
TOTO
ユニセコングタマコファクチャリング
・FFG・西日本シティ銀行
・佐賀銀行・十八銀行
・肥後銀行・大分銀行
・宮崎銀行・鹿児島銀行
・琉球銀行・沖縄銀行



FFGベンチャービジネスパートナーズ

“地域から世界”
を応援する
50億円ファンド

事務局

・九州地域産業
活性化センター
・九州経済連合会

X-Tech Match-Up

(2020年1月までに3回開催)

FFGベンチャービジネスパートナーズ投資先も
含むスタートアップと九州企業の商談会

スタートアップ31社・地場企業225社の商談

(2019年1月開催分)



S.C.A.L.E.

(2019年に立ち上げ)

福岡のベンチャーキャピタル3社が連携して
創業初期の起業家を伴走支援するプログラム
(メンタリングイベントの共催や将来的な協調投資を想定)



FFGベンチャービジネスパートナーズ

F Ventures DOGAN B



2019年9月に
創業初期の起業家
に経営助言を行う
メンタリングイベント
を共同で開催。
(今後は継続開催)